



富士精工は、ドイツのマイスター制度にならい、「日本一（富士）の精密工具（精工）をつくる」という志のもと、1958年に創業いたしました。以来、精密工具分野における「ものづくり」を通じ、微力ながら産業界や地域社会の発展に貢献してきました。

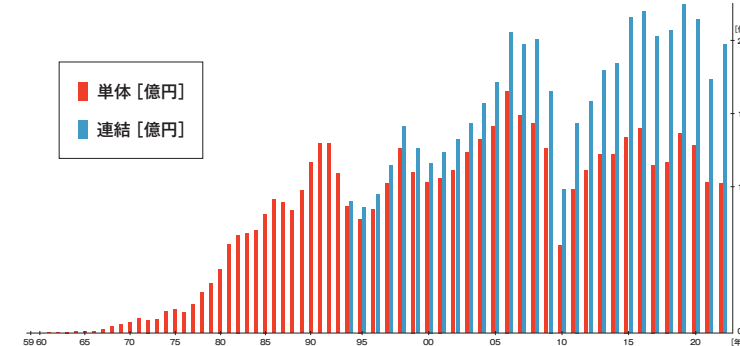
現在のようなチャレンジングな環境においても、変化を恐れず常に前向きに対応するとともに、「創業の心」を守り、世界に広がったステークホルダーの方々から、必要な会社・大事な会社と認めていただけるよう、精力的な事業活動を進めてまいります。

代表取締役会長 兼 社長 森 誠

■ 会社概要

会社名	富士精工株式会社 (FUJI SEIKO LIMITED)
創立	1958年3月
資本金	28億8,201万円
株式	名古屋証券取引所 メイン市場上場
代表取締役会長兼社長	森 誠
従業員	連結：1,493名 単体：428名 (2023年2月28日現在)
売上高	連結：197億円 単体：102億円 (2023年2月期)

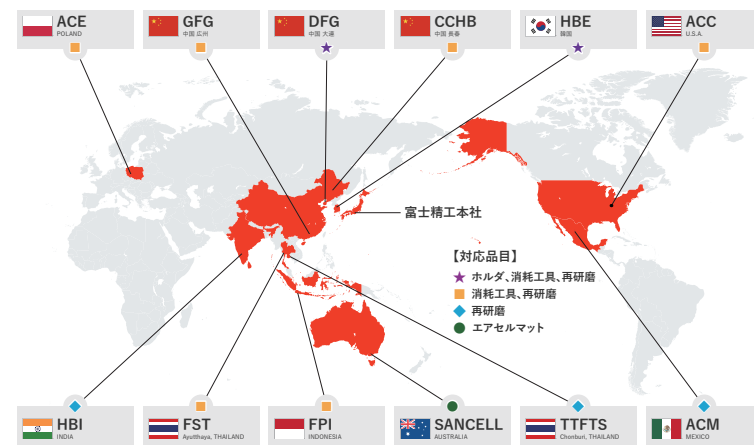
■ 売上の推移 [創立～現在まで]



海外拠点

世界各地に広がるお客様に寄り添い
ともに考え、ともに成長する。

富士精工グループ拠点の立地を生かした調達・製造で世界最適調達に対応し、お客様が求める高品質・低コスト・短納期に確実に応えます。



国内拠点

日本全国をカバーするネットワークで
製造現場のあらゆる課題を解決する。

1958年の創業以来モビリティ産業を中心に、全国に広がるネットワークで日本のものづくりを支えています。



創る、つなぐ Connecting idea, Creating solutions.

お客様のあらゆる現場にソリューションを提供し、課題を解決いたします。



FTCEの連携イメージ (FUJI Total Connected-max Engineering)



C-max 驚きと、感動と、満足を

工具に関わるあらゆる仕事をサポートする ツールエンジニアリングカンパニー

切削工具とホルダーの理想的結合（Clamp）の極限（max）を追求するコンセプトとして誕生した C-max。
製造・サービス・販売事業を融合した独自のビジネスモデルを構築し、
特殊工具メーカーのスケールを超え、世界の製造現場を支えています。

製品・技術サービス

回転工具：穴あけ工具

切屑細分化や一発加工などの付加機能で、工程集約・高能率化に貢献する穴あけ工具を提供します。



アルミ用 鋳物用

回転工具：ホルダ

コスト低減、汎用機化に貢献。独自の発想と技術で製造現場の様々な課題を解決しています。



ボーリングホルダ 特化工程製品 バリ取りホルダ

治具 / チャック

作業の段替え性向上や投資削減など付加価値の高い治具/チャックを提供します。



丸物チャック治具 平治具

樹脂 3D プリント製品

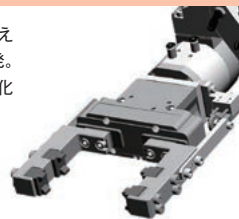
CFRP 対応 3D プリントを活用して、自由な発想、自在な形状と経験に裏打ちされた製品を提供します。



ロボットハンド 治具 付加価値部品

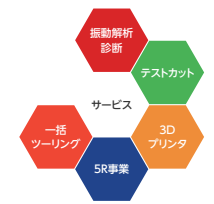
マテハン

ワークの搬送、治具段替えを行うハンドホルダを開発。圧倒的な低コストで自動化を素早く実現。



サービス

「ものづくり現場の困りごと解決企業」として、富士精工ならではのサービスをご用意しております。



電動車関係

クルマの電動化へのシフトにより、変革する製造業をサポートします。



機械加工分野の上流から下流まで

モビリティ産業とともに歩んできた長年の実績と対応力を多様な産業へ



- 工具、治具、装置などの加工点周りをトータルで設計製作する国内唯一の特殊工具メーカー
- 世界中から最先端の優れた製品をお届けする機械・工具総合商社
- 上流から下流まで加工点まわりのトータルエンジニアリングカンパニー

FTCE 事業

FTCE

FUJI Total Connected-max Engineering

多様なニーズ、テクノロジー、データ、ものづくりを
富士精工のソリューションでつなぎ合わせて、
お客様の価値を創造、最大化します。

C-max・事業コンセプト



製品・技術サービス



海外事業

各国の地域事情や市場環境に合わせた提案・協業活動

工具事業

特殊ツーリング
特殊切削工具
電動車用工具

試作部品製造事業

試作コーディネータ
多品種少量部品生産
加工ラインの実証

設備事業

設備/装置
システムアップ作業
搬送機器
高機能治具
自動化/無人化装置
ロボット/FA
システムインテグレイタ
専用ロボットモジュール

プラットフォーム事業

工場現場のコストマネジメント
トレスナビリティ作業
コンサルジュ業務
仕組み開発
業務の標準化

商社事業

工具・設備商材
エンジニアリング



H I S T O R Y

特殊超硬工具メーカー	ツーリングメーカー	トータルツーリングメーカー	ツールエンジニアリングカンパニー	トータルエンジニアリングカンパニー			
1958 工具に夢とロマンを求めて '58 名古屋にて会社創立 超硬チップ切断、バイト、カッター等の製造販売開始	1960 時代を先見した C-max '64 豊田市に工場設立 フォームバイト・リーマー製造販売開始 特殊超硬工具メーカーの原型完成 '68 本社機能移転 '69 アメリカ視察により業態変換。 スローアウェイ工具の製造販売開始	1970 工具の国産化と技術の深化 '70 外国製超精密工具の国産化 '71 C-max 溝入れ工具発表 '73 微調整ホルダ開発 '74 クイックチェンジホルダ開発 (以後シリーズ化) 超硬工具協会加入 '77 ダイヤモンド工具製造販売開始 '79 自動車試作部品事業参加	1980 事業拡大と株式上場 '82 名古屋証券取引所株式上場 (第二部・現メイン市場) '83 金型分野へ進出 Gドリル発表 (以後シリーズ化) '84 富士エンジニアリング設立 熊本工場設立 '88 海外進出を開始 HAN BOO ENGINEERING 設立 (韓国) SANSETSU AUSTRALIA 設立 (現 SANCELL) ACCURAMM USA 設立 ('89)	1990 世界各地のお客様のために '90 ワーク測定ゲージ製造販売開始 '91 FSK (THAILAND) に資本参加 (現 FUJISEIKO (THAILAND)) '92 鹿児島工場設立 '93 FUJI PRESISI-TOOL INDONESIA 設立 '95 大連富士工具設立	2000 一工具メーカーからの飛躍 '00 FTE 事業開始 '03 TT FUJI TOOL SUPPORT 設立 '04 ACCURAMM CENTRAL EUROPE 設立 広州富士工具設立 ワークチャック治具の設計製作開始 '05 長春韓富工具設立	2010 機械加工分野の上流から下流まで一貫対応 '10 電動車関連事業への参入 '12 ACCURAMM MEXOCO 設立 '18 韓富インド有限会社設立	2020 大変革時代への挑戦 '21 志賀機械工業株式会社を子会社化 '23 FTE を FTCE へ発展し、事業化